

動詞「UgkU」の文法化について一考察

巴德瑪

(内モンゴル大学外国語学部, フフホト, 010070)

本稿では、モンゴル語の動詞「UgkU」について、「物を相手に渡す」という本動詞としての意味が徐々に薄れ、「相手に恩恵を与える」という補助動詞として文法的な意味を表す文法化の過程を考察していきたい。これまでの先行研究では、動詞「UgkU」の補助動詞としての文法的な意味を提示するのに留まり、その本動詞から補助動詞への文法化の過程について、管見の調べでは行われていないようである。それに、その補助動詞としての意味・用法についても、十分に分析されていないようである。

そこで、本論文では、モンゴル語の動詞「UgkU」の本動詞から補助動詞への文法化の過程を詳しく考察していきたい。本論文ははじめと終わりの他、先行研究の紹介及び問題点、本動詞としての「UgkU」の意味の希薄化、補助動詞としての「UgkU」の意味の希薄化という部分から構成される。

1、先行研究及び問題点

モンゴル語の動詞「UgkU」の補助動詞としての意味・用法についての研究が多く行われていると言えるが、ほとんどの研究は主に清格爾泰(1979)、内蒙古大学中国語学文系蒙語教研室(1964)を基に、似たような内容を異なる表現で述べているのに過ぎない。ここでは、主にこの二つの先行研究を紹介し、問題点を指摘していきたい。

清格爾泰(1979: 372)では、方向を表す動詞「UgkU」は本動詞として使われる場合は「相手に渡す」という意味を表し、補助動詞として使われる場合は「相手に向かってやる、相手のためにする」というを表すと述べられている。その例文を借用すると次のようである。

(1) GoncuG qoni quriyaju UgkU-ber yabuGsan

(2) yaGakiGad edUi udadatal_a egUde-ben negegejU UgkU Ugei
bui?

(3) ene kUmUn-dU jam sayin jiGaGad Ug.

(4) quraG_a-yi cini bi kUkUgUlju UgkUy_e.

(5) abun_a gesen kOmUn-i cini yabuGulju UgkUy_e.

以上の例文において、例文(2)以外の文において、動詞「UgkU」は相手にためにする動きを表していると言えるが、例文(2)は話し手自分に対する動きを表していると考えられる。従って、動詞「UgkU」はいつも相手に対する動作ではなく、話して自分に向う動作の場合も使われる。

内蒙古大学中国語学文系蒙語教研室(1964)では、補助動詞「Ug」が副動詞語尾「Ju/cu,Gad/ged」の後ろに用いられ、その動作を完全にする、又は相手に向けて行う行為を表すと述べている。その例文を借用すると次のようである。

(6) ta qoyar-un ucir-i bi tasulju UgkUy_e.

(7) ene somu-yi mini jiGulju UgkUgeci.

(8) ci ongGucan deger_e abacin uyaju ebesU talbin Ug.

例文(6)と(8)は相手に向けての動きであるが、例文(7)は相手から話し手に向けての動きである。また、その動作を完全にするという意味を表すと述べているが、例文は出されていない。

そこで、次の例文を見ていきたい。

(9a) eji nada-du joGus Ugcei.

(9b) nada-du eji joGus Ugcei.

(10a) bi ceceg-tU nom Ugcei

(10b) ceceg-tU bi nom Ugcei

例文(9a)と(9b)は同じ意味を表している文であるが、例文(9a)は動作を与える側「eji」に視点を置いて述べており、例文(9b)は動作を受ける側「nada」に視点を置いて述べている。両方とも授受物「joGus」は「eji」から「nada」に移動する。同じく、例文(10a)と(10b)において、「bi」は動作の与えて側であり、「ceceg」は動作の受け手側であり、「nom」は授受物になる。つまり、「UgkU」という動詞を使う場合、動作の与え手(省略して与え手とする)、動作の受け手(省略して受け手とする)、授受物という三つの要素が必要である。

(11) bi batu-du nom Ugcei.

(12) batu nada-du nom Ugcei.

例文(11)と(12)は同じく本の移動を表している文であるが、与え手と受け手が異なるため、授受物の方向は違っている。例文(11)では与え手は「bi」で、受け手は「batu」である。逆に例文(12)では与え手は「batu」であるが、受け手は「bi」である。従って、動詞「UgkU」は単に相手に向けての動作ではなく、話して自分に向けて行われる場合もあり、視点によってその方向も違ってくる。

要するに、先行研究では、主に補助動詞として相手に向けて行われる場合について述べているが、本動詞としての意味・用法及び補助動詞として話し手に向けられる動作についてはほとんど触れていない。次に、動詞「UgkU」の文法化の過程について、主に本動詞としての意味・用法、補助動詞としての意味・用法と大きく二つの部分に分けて、その文法化の過程を考察していきたい。

2. 動詞「UgkU」の本動詞としての意味・用法について

すでに述べてあるように、動詞「UgkU」は与え手から受け手へ授受物を移動させる動きであり、その授受物が具体物か抽象物かによって、本動詞としての意味の度合いも違ってくる。

2.1 具体的な物の移動の場合

動詞「UgkU」は与えてから受け手に具体物を手渡しするという意味を表すときは最も基本的意味を表す。

(13) batu ceceg-dU boGcu Ugcei.

(14) baGsi suruGci-du nom Ugcei.

例(13)(14)において、与え手から目に見える具体物が受け手に移動し、授受物は受け手に属するものなり、動詞「UgkU」は基本的意味を表す。そこで、次の例文を見てみよう。

(15) tere noqai-du qoGula Ugcei.

(16) emci ebedciten-dU em Ugcei.

例(15)(16)において、動詞「UgkU」は例(13)(14)と同じく目に見える物の移動を表すが、ただ授受物の所有権の移動ではなく、受け手に何らかの恩恵を与えている。例(15)において、与え手「tere」から授受物「qoGula」を犬に

やったおかげで、犬は食べ物を得てお腹いっぱいになる。例(16)では、授受物「em」は受け手「ebedciten」の病気を治し、患者を身体的、又は精神的苦しみから解放させる。この場合、動詞「UgkU」が表す意味は単に、目に見える物の移動だけではなく、受け手に対しての恩恵の意味も含意されている。しかし、次の例(17)の場合はどうであろう。

(17) tere keUken-iyen batu-du Ugcei.

(18) keUked-i surGaGuli-du Ugcei.

例(17)の意味は「娘がバトの嫁として嫁ぐ」という意味を表し、「keUken」が相手「batu」の家族の一員になったという意味をであり、移動物「人」という具体物を受け手に渡したことではない。例文(18)も同じく、子供を学校にあげたことではなく、子供が学校という組織の一員になったということを表している。従って、例(17)(18)において、動詞「UgkU」が表している意味は単なる「人」という人物の空間的移動ではなく、その属性に変化が起きたことを表している。この場合、動詞「UgkU」の基本的意味は希薄していると考えられる。

2.2 抽象的な物の移動の場合

与え手から受け手へ移動する物が抽象的な物の場合、動詞「UgkU」の基本的意味がもっと薄れていく。

(19) batu ceceg-du qariGulta Ugcei.

(20) batu tegUn-dU cokilta Ugcei.

(21) tegUn-dU qurdun yabu gesen dokiy_a Ugcei

例(19)～(21)において、授受物は与え手の動き、言動、表情などで、それらが受け手に対し何らかの形で精神的に影響を及ぼしている。この場合動詞「UgkU」の意味は一層希薄化し、与え手から受け手に対して精神的、心理的に何らかの影響を与えることを表す。

(22) baGsi tegUn-dU jUbsiyerel Ugcei.

(23) batu tegUn-dU sanal Ugcei.

(24) eji-ni kUU-dU-ben joriG Ugcei

(25) tegUn-dU oncuGai erke Ugcei.

例(22)～(25)において、授受物としての「jUbsiyerel」「sanal」「joriG」「erke」などは、抽象的な物であり、与え手から受け手に対して、身体的でなく、精神的に何らかの影響を与えたことを表す。この場合、動詞「UgkU」は与え手から受け手に対して、許可、アドバイス、勇気、権力など、抽象物の心理的動きを表す。

要するに、動詞「UgkU」が本動詞として活用される場合、授受物の性質によって動詞の表す基本的意味の度合いも異なってくる。まず、授受物が具体物で、受け手にとって身体的に何らかの変化をもたらさない場合、動詞「UgkU」は与え手から受け手へ物を渡すという最も基本的意味を表す。次に、授受物が具体物であり、且つ受け手に身体的に何らかの影響を与える場合、動詞「UgkU」は与え手から受け手への物を渡すという物の空間的移動以外に、受け手の精神的に影響を与える心理的移動を表す。一方、授受物が抽象的な物の場合、動詞「UgkU」の基本的意味は一層薄れて、単なる心理的影響を表す。従って、動詞「UgkU」の文構造は「X(与え手) ni(が) Y(受け手) du/tu(に) Z yi/i(を) UgkU」になり、場合によって与え手又は受け手が省略されることもある。

3、動詞「UgkU」の補助動詞としての意味・用法について

ここでは動詞「UgkU」が副動詞語尾の後ろに結合し補助動詞として文法的な意味を表す場合の文法化過程を考察していきたい。内蒙古大学中国語学文系蒙語教研室(1964)では、補助動詞「Ug」が副動詞語尾「Ju/cu, Gad/ged」の後ろに用いられ、その動作を完全にする、又は相手に向けて行う行為を表すと述べているが、動詞「UgkU」が副動詞語尾「Ju/cu」と「Gad/ged」のそれぞれの後ろに結合した場合の意味の違いについて考察していない。次に、授受物の性質によって三つの部分に分けて記述し、「Ju/cu+UgkU」と「Gad/ged+UgkU」の違いについて分析していきたい。

3.1 副動詞語尾「Ju/cu」+「UgkU」

動詞「UgkU」が本動詞として活用される時の文構造は「X ni Y du/tu Z yi/i UgkU」になるが、補助動詞の場合は「X ni Y du/tu Z yi/i Ju/Gad+UgkU」になる。次の例文を見てみよう。

(26) kOmUs-tU cai budaG_a jUgegejU Ugdeg.

(27) buGudal-i ger-tU-ni kUrgejU **UgkUgsen.**

(28) nada-du sin_e oyuGsan Saqai jerge beledgejU **UgkUgsen**

(29)sayi-yin tere biciqan Okin egUde negegejU **Ugbe**

以上の例文において、動詞「UgkU」が副動詞語尾「Ju/cu」の後ろに結合したもので、その表現している意味は単なる授受物の移動ではなく、前接する動詞の動作によって、与え手から受け手に何らかの恩恵を与えていることになる。この場合、補助動詞「UgkU」の前接動詞は意志的にコントロールできる意志動詞であり、恩恵の方向は話者より外側への方向と話者への内側の方向の二つの方向性を持っている。例(26)は、与え手から受け手「kOmUs」に「cai budaG_a」などを運んであげることによって、受け手が何らかの受益を受けることになる。言い換えれば、与え手から受け手へ恩恵を与えている。例(27)も同じく、与え手から受け手に「buGudal」を送ることによって、受け手が受益していることを表す。だが、授受物が具体的な物の場合、補助動詞「UgkU」は主に授受物の空間的移動の方向を表す。一方、例(28)は受け手は話者であり、与え手の準備によって受け手である話者は受益しているし、恩恵は話者の方へという方向になっている。例(29)も同様に受益しているのは話者の方である。

しかし、例(28)は与え手から受け手に「sin_e oyuGsan Saqai jerge」など具体的な物を準備してくれたのに対し、例(29)は授受物はなく、「biciqan Okin」という与え手から受け手にドアを開けてくれたことによって、受け手の方は恩恵を受けることになる。この場合、補助動詞「UgkU」の授受物の空間的移動の方向性よりも受け手への恩恵の意味が前面に出されているように思われる。

(30) baGsi minU jokiyal-i UjejU **Ugbe.**

(31) tere jarim keseg-i-ni nayiraGulun biciju **UgkUgsen.**

(32) batu ceceg-Un sonin ungsiju **Ugcei**

(33) bi cim_a-du kedUn UsUg jiGaGaju **UgkUy_e.**

例(30)は先生が学生の作文を添削してくれたという意味を表し、例(31)は相手に何らかの資料を編集してくれたことを表す。例(32)は新聞を読んであげたことを表し、例(33)は相手に文字を教えたことを表している。この四

つの例文において、前接動詞は「考える、思う、読む、聞く、…」などの動詞述語文で、文の焦点は授受物というよりも、与え手の知恵が何らかの形で受け手に影響を与えている恩恵の意味が一層強調されていると考えられる。

一方、授受物が抽象的な物の場合、補助動詞「UgkU」は本動詞としての基本的意味が薄れて、前接動詞に様々な文法的な意味を加える。

(34) malcin tUmen-U egUrge daruGasu-yi kUngegelejU Ugcei.

(35) teden tei sedkil sanaG_a-yi-ni nebteregUljU UgkUn_e.

(36) arad tUmen-dU amidural-un jam-i negegejU Ugcei.

(37) neyigem-Un dumdaki ciqula yeke asaGudal-i siyidbUrilejU
UgkUn_e.

例(34)～(37)において、前接動詞は他動詞で、動詞「UgkU」は授受物の空間的移動の意味を失い、受け手が心理的に何らかの受益を受けている。この場合、動詞「UgkU」は本動詞の意味を失い、文法化して補助動詞として恩恵の意味を表すようになる。

3.2 副動詞語尾「Gad/ged+UgkU」

3.1 では、副動詞語尾「Ju/cu+UgkU」の文法化の過程を考察したが、ここでは副動詞語尾「Gad/ged+UgkU」の形における補助動詞「UgkU」の文法化の過程について述べていきたい。

(38a) abu-ni cim_a-du ilGaGad UgkUy_e.

(39a) qaranta-yi cini keregleged UgkUy_e.

(40a) egeci-ni cim_a-du qalisu-yi-ni abuGad UgkUy_e.

(41a) tegUn-dU erteken oyuGad Ugcikekey_e.

例(38a)～(41a)において、補助動詞「UgkU」は与え手から受け手に具体的な物を与えるという基本的意味を表している。この場合は副動詞語尾「Gad/ged」と「UgkU」の間にほかの言葉を挿入しても動詞「UgkU」の基本的意味は変わらない。つまり、授受物の空間的移動の場合、「Gad/ged+UgkU」は本動詞の意味を表す。

(38b) abu-ni cim_a-du ilGaGad ceber-i-ni UgkUy_e.

(39b) qaranta-yi cini keregleged bucaGaju UgkUy_e.

(40b) egeci-ni cim_a-du qalisu-yi-ni abuGad kedUn atuG_a
UgkUy_e.

(41b) tegUn-dU erteken oyuGad abacigad **Ugcikey_e.**

しかし、副動詞語尾「Gad/ged」と「UgkU」の間に言葉の挿入ができない場合、補助動詞「UgkU」の基本的意味が希薄化して、受け手に恩恵を与えるという文法的な意味を表すようになる。この場合、前接動詞は意志的にコントロールできる他動詞である。

(42) man-du bUr bosqaGad **Ugcigejei.**

(43) ta minU SilUg-i Ujeced **UgkUgerei.**

(44) ta ger-Un aqamad tai nige aGuljaGad **UgkUgerei.**

(45) cilUge tei bol qaraci Oniy_e-yi kedU tataGad **Ug.**

一方、前接動詞が自動詞の中で、意志的にコントロールできない一部の動詞の場合、補助動詞「UgkU」の意味は一層希薄化し、前接動詞に完了の意味を加える。

(46) man-u Gadan_a quriyaGsan noGuGan ebesU-cu daGusuGad
UgkUI_e.

(47) mori oru mUr Ugei alaG_a boluGad **Ugcei.**

(48) bi medege aldaGad **UgkUgsen** bile.

(49) tere saGuGsan keb-iyer-iyen untaGad **UgkUgsen.**

例(46)は草が終わってしまったことを表し、例(47)は馬がいなくなってしまったこと表す。そして、例(48)は意識を完全失ったことを表し、例(49)は座ったまま寝てしまったことを表す。この場合、日本語の補助動詞「てしまう」と同じく「完了」意味を表す。日本語の補助動詞「てしまう」には「完了」を表すほか、思い通りにいかなかった残念で、悔しい気持ち、つまりムード的な用法もある。では、モンゴル語の補助動詞「UgkU」にもムード的な用法がある否か次の例文を見てみよう。

(49) tere minU joGus-i bUr jaruGad **Ugcikegsen.**

(50) minU qayiratai noqai UkUged **Ugcikegsen.**

(51) Ur_e-yin GaGca keUken-i mini UkUmer bayiG_a kOmUn-dU
mekeleged Ugcikejei

例(49)はお金を全部使い切ってしまったことに対し不満な気持ちを持っていることを表している。例(50)は自分の愛犬が死んでしまったことに対し悔しくて、残念な気を持っていることを表している。例(51)は人に騙されて、自分の娘が死にかけている人の嫁にされたことに対しての悔しい気持ちを表している。従って、モンゴル語の補助動詞「UgkU」が副動詞語尾「Gad/ged」の後ろに結合し、話し手の気持ちを表すムード的な用法もあり、この場合補助動詞の文法化の度合いは最も高いと言えよう。

4. まとめと今後の課題

本稿では、モンゴル語の動詞「UgkU」の文法化の過程について考察を行った。動詞「UgkU」の基本的意味は与え手から受け手への具体物の空間的移動を表す。だが、移動物が具体的な物から抽象的な物になることによって、動詞「UgkU」の文法化が進み、更に副動詞語尾「Ju/cu,Gad/ged」の後ろに結合した場合、本動詞としての物の空間的移動の意味を失い、前接動詞に様々な文法的な意味を加える。とりわけ、副動詞語尾「Ju/cu」+「UgkU」の場合、補助動詞「UgkU」は与え手から受け手に恩恵を与えることを表す。特に、副動詞語尾「Gad/ged+UgkU」の場合は副動詞語尾「Ju/cu」の場合よりも更に文法化が進み、受け手に恩恵を与えるという文法的な意味のほか、動きや状態の完了、又は話し手の残念な気持ち、悔しい気持ちを表す。つまり、補助動詞「UgkU」にはアスペクト的な用法とムード的な用法がある。

また、補助動詞「UgkU」に前接する動詞の特徴から見ると、副動詞語尾「Ju/cu」+「UgkU」の場合は主に意志的にコントロールできる意志動詞であるが、副動詞語尾「Gad/ged+UgkU」の場合は無意志動詞の場合も使用可能である。従って、モンゴル語の補助動詞「UgkU」の文法化の度合いは他の補助動詞よりも高いということが言えよう。

本稿は、主にモンゴル語の動詞「UgkU」の文法化の過程を考察したが、今後の研究では日本語の授受動詞「あげる」「もらう」「くれる」「やる」と対照研究を行い、それらの共通点と相違点を考察していきたい。

参考文献

- 秋元実治(2001)『文法化—研究と課題—』 英潮社.
 (2002)『文法化とイディオム化』 ひつじ書房.
 寺村秀夫(1984)『日本語のシンタクスと意味 第II巻』 くろしお出版.
 内蒙古大学中国語文学文系蒙語教研室(編)(1964)*Odu üy-e-yin mongyul kele*
 内蒙古人民出版社出版.
 内蒙古大学蒙古学研究院蒙古語文研究所(1996)『蒙漢辭典』内蒙古大学出版社.
 清格爾泰(1965)‘Mongyul kelen-ü tusalaqu üile üge-yin tuqai’ 『内蒙古大学学
 术杂志』.
 (1979) *Odu üy-e-yin mongyul kele-n jüi* 内蒙古人民出版社出版.
 (1986)『語文学術論文集』内蒙古大学蒙古語文研究所.
 (1991)『蒙古語語法』 内蒙古人民出版社.
 (1999)『現代蒙古語』 内蒙古人民出版社.
 金 殷模(2013)「授受動詞の文法化についての日韓対照研究:「もらう」と
 「받다(patta)」の差異を視点として」『国語学研究』 52
 号 PP.72—86
 井上 優(2011)「日本語・韓国語・中国語の「動詞+授受動詞」(特集 やりも
 らいの日本語学)」『日本語学』 30号 PP.38—48

关于动词‘UgkU’的语法化分析

巴德玛

(内蒙古大学外国语学院, 内蒙古呼和浩特, 010021)

摘要: 本论文主要对蒙古语的动词‘UgkU’的语法化过程进行了分析。动词‘UgkU’的基本意思是表示具体的事物从给与者移动到受与者的空间移动的过程。在移动的事物从具体事物转变为抽象事物的过程中, 动词‘UgkU’的语法化会不断加

深, 尤其是接在动词的副动词词尾 ‘Ju/cu, Gad/ged’ 后面时, 失去作为主动词而表示事物的空间移动的意义, 对前接动词附加各种语法意义。

关键词: 蒙古语; 动词; 语法化

中图分类号: H2 **文献标识码:** A

A Grammaticalization Analysis of the Verb ‘UgkU’

Badma

(Foreign Languages College, Inner Mongolia University, Hohhot 010021)

Abstract: This paper mainly analyzes the grammaticalization process of the Mongolian verb ‘UgkU’. The basic meaning of the verb ‘UgkU’ is to indicate the process of moving specific things from the giver to the recipient’s space. In the process of moving things from concrete things to abstract things, the grammaticalization of the verb ‘UgkU’ will continue to deepen, especially after the verb ‘Ju/cu, Gad / Ged’ losing the meaning of the spatial movement of things as the main verb adds various grammatical meanings to the preceding verb.

keyword: Mongolian language; Verb; Grammaticalization

[基金项目] 2016 年度内蒙古自治区教育厅高等学校科学研究项目《认知语言视角下的日语和蒙古语的补助动词语法化比较研究》(项目编号: NJSY16006)。

[作者简介] 巴德玛(1982—), 女, 蒙古族, 内蒙古兴安盟人。内蒙古大学外国语学院讲师, 研究方向为比较语言研究。

[收稿日期] 2021-03-22